

対象校No. 85

注4

学校コード F108110101423

注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の設置

注1

**意見伺い**

注2

筑波大学

学際サイエンス・デザイン専門学群

**【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正後大学設置基準適用)**

国立大学法人筑波大学

令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 教育推進部教育機構支援課

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。  
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

学際サイエンス・デザイン専門学群

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	1
2. 授業科目の概要 . . . . .	5
3. 施設・設備の整備状況、経費 . . . . .	12
4. 既設大学等の状況 . . . . .	13
5. 教育研究実施組織の状況 . . . . .	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等 . . . . .	19
7. その他全般的事項 . . . . .	21

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人筑波大学

## (2) 大学名

筑波大学

## (3) 調査対象大学等の位置

Wisma R&D, Universiti Malaya, Jalan Pantai Baharu, 59990 Kuala Lumpur, Malaysia  
(〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1)

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ナガタ キョウスケ) 永田 恭介 (平成25年4月)		
学群長	(ツジムラ マキ) 辻村 真貴 (令和6年9月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

( )書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
  - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
  - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
  - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
学際サイエンス・デザイン専門学群 学士（学術）	工学関係 農学関係	4年	40人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	160人	-	令和6年9月開設（第1年次）

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	40人	40人	-	40人	春季入学以外の学期区分を設ける予定 9月入学入学定員 40人	- 倍	- 倍	令和6年5月1日現在、9月入学者の学生募集を実施中。(6) 令和7年5月1日現在、令和7年9月入学者の学生募集を実施中。(7)
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	15	(-)	(-)					
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	15	(-)	(-)					
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	13	(-)	(-)					
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	13	(-)	(-)					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	0.32	-	-					

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
  - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・転入学生は記入しないでください。
  - ・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
  - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
  - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次									-	12	-	12	令和6年5月1日現在、9月入学者の学生募集を実施中。(6) 令和7年5月1日現在、令和7年9月入学者の学生募集を実施中。(7)
									[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
									( - )	( - )	( - )	( - )	
2 年次											-		
											[ - ]	[ - ]	
											( - )	( - )	
3 年次													
4 年次													
計	-	-	-	-	-	-	-	-	12	12			
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、**留学生の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	12 人	1 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	1 人	- 人	一身上(1人)
令和7年度	12 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合計		1 人		1 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{1}{13} = \boxed{7.69} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<学際サイエンス・デザイン専門学群>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				の基幹教員以外を 除く(→助手)			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手		
基礎科目	総合科目 ファーストイヤーセミナー 学問への誘い 社会と職業 小計(3科目)	1前	1			8	4	2					
		1前	1			8	4	2					
		1後	1			2							
	体育 基礎体育 応用体育 小計(2科目)	1通	1			1			1				
		2通	1			1					2		
		-	2	0	0	1	0	0	1	0	2		
	外国語 研究日本語基礎I-A-1 研究日本語基礎I-A-2 研究日本語基礎I-B 研究日本語基礎II-A-1 研究日本語基礎II-A-2 研究日本語基礎II-B 小計(6科目)	1前	2			1					1		
		1前	2			1					1		
		1前	2			1					0		
		1後	2			1					1		
		1後	2			1					1		
		1後	2			1					1		
	情報 情報リテラシー(講義) 情報リテラシー(演習) データサイエンス 小計(3科目)	1前	1			2	2						
		1前	1			2	2						
		1後	2			2	2						
	関連科目 MPD Philosophy and Current Issues Appreciation of Ethics and Civilisations Malay Language Communication II National Language A 小計(4科目)	2・3・4前	2								2		
		2・3・4後	2								2		
		2・3・4前	2								2		
2・3・4後		2								2			
-		2	6	0	0	0	0	0	0	0	2		
基礎科目計(18科目)			-	15	14	0	8	4	0	2	0	5	
専門基礎科目	統計学基礎	1前	3			2	2						
	実践統計	1後	3			2	2						
	日本語と学問I	2前	3			1				2			
	日本語と学問II	2後	3			1				2			
	自然科学基礎I	2前	4			5	2			3			
	自然科学基礎II	2後	4			5	2			4			
	人文社会科学基礎I	2前	4			1	1		1	2			
	人文社会科学基礎II	2後	4			1	1		1	3			
	データサイエンスのための線形代数	3前	2			2	2						
	データサイエンスのための解析学	3前	2			2	2						
	データサイエンスのためのシステム理論	3後	2			2	2						
専門基礎科目計(11科目)			-	34	0	0	7	4	0	2	0	15	
専門科目	日本文化と社会の理解I	2前	2			1				2			
	日本文化と社会の理解II	2後	2			1	1						
	日本文化コミュニケーションI	3前	3			1			1				
	日本文化コミュニケーションII	3後	3			2							
	自然科学通論I	3前	4			5	2			7			
	自然科学通論II	3後	4			5	2			2			
	人文社会科学通論I	3前	4			1	1		1				
	人文社会科学通論II	3後	4			1	1		1	3			
	小計(8科目)			-	26	0	0	8	4	0	2	0	9
	Problem Based Learning	時事課題論考演習I	1前	5			8	4		2			
時事課題論考演習II		1後	6			8	4		2				
時事課題解析演習I		2前	6			6	4		2	1			
時事課題解析演習II		2後	6			6	3		2	3			
時事課題解決法提案演習I		3前	6			8	4		2				
時事課題解決法提案演習II		3後	6			8	4		2				
卒業研究		4通	10			8	4		2				
小計(7科目)			-	45		8	4	0	2	0	4		
専門科目計(15科目)			-	71		8	4	0	2	0	10		
合計(44科目)			-	120	14	0	8	4	0	2	0	20	

卒業要件及び履修方法

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置				の基幹教員以外を 除く(→助手)			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手		
基礎科目	総合科目 ファーストイヤーセミナー 学問への誘い 社会と職業 小計(3科目)	1前		1			9	3		2				
		1前		1			9	3		2				
		1後		1			2							
	体育 基礎体育 応用体育 小計(2科目)	1通			1			1			1			
		2通			1			1				2		
		-			2	0	0	1	0	0	1	0	2	
	外国語 研究日本語基礎I-A-1 研究日本語基礎I-A-2 研究日本語基礎I-B 研究日本語基礎II-A-1 研究日本語基礎II-A-2 研究日本語基礎II-B 小計(6科目)	1前			2			1				1		
		1前			2			1				1		
		1前			2			1				0		
		1後			2			1				1		
		1後			2			1				1		
		1後			2			1				0		
	情報 情報リテラシー(講義) 情報リテラシー(演習) データサイエンス 小計(3科目)	1前			1			3	1					
		1前			1			3	1					
		1後			2			3	1					
	関連科目 MPD Philosophy and Current Issues Appreciation of Ethics and Civilisations Malay Language Communication II National Language A 小計(4科目)	2・3・4前			2							2		
		2・3・4後			2							2		
		2・3・4前			2							2		
2・3・4後				2							2			
-				2	6	0	0	0	0	0	0	2		
基礎科目計(18科目)			-	-	15	14	0	9	3	0	2	0	6	
専門基礎科目	統計学基礎	1前	○	3			3	1						
	実践統計	1後	○	3			3	1						
	日本語と学問I	2前	○	3			1				2			
	日本語と学問II	2後	○	3			1				2			
	自然科学基礎I	2前	○	4			6	1			3			
	自然科学基礎II	2後	○	4			6	1			4			
	人文社会科学基礎I	2前	○	4			1	1		1	1			
	人文社会科学基礎II	2後	○	4			1	1		1	2			
	データサイエンスのための線形代数	3前	○	2			3	1						
	データサイエンスのための解析学	3前	○	2			3	1						
	データサイエンスのためのシステム理論	3後	○	2			3	1						
専門基礎科目計(11科目)			-	-	34	0	0	8	3	0	2	0	13	
専門科目	日本文化と社会の理解I	2前	○	2			1				2			
	日本文化と社会の理解II	2後	○	2			1	1						
	日本文化コミュニケーションI	3前	○	3			1			1				
	日本文化コミュニケーションII	3後	○	3			2							
	自然科学通論I	3前	○	4			6	1			5			
	自然科学通論II	3後	○	4			6	1			2			
	人文社会科学通論I	3前	○	4			1	1		1				
	人文社会科学通論II	3後	○	4			1	1		1	2			
	小計(8科目)			-	-	26	0	0	8	3	0	2	0	7
	Problem Based Learning	時事課題論考演習I	1前	○	5			9	3		2			
時事課題論考演習II		1後	○	6			9	3		2				
時事課題解析演習I		2前	○	6			7	3		2	1			
時事課題解析演習II		2後	○	6			7	2		2				
時事課題解決法提案演習I		3前	○	6			9	3		2				
時事課題解決法提案演習II		3後	○	6			9	3		2				
卒業研究		4通	○	10			9	3		2				
小計(7科目)			-	-	45	0	0	9	3	0	2	0	2	
専門科目計(15科目)			-	-	71	0	0	9	3	0	2	0	8	
合計(44科目)			-	-	120	14	0	9	3	0	2	0	19	

卒業要件及び履修方法

(卒業要件)

1. 基礎科目 21単位  
 1) 総合科目 3単位(必修)  
 2) 情報 4単位(必修)  
 3) 体育 2単位(必修)  
 4) 外国語 8単位(必修4単位、選択必修4単位)  
 研究日本語基礎I-A及びII-Aについては、プレシメントテストにより、履修するレベル別クラスを決定する。(I-A-1/II-A-1又はI-A-2/II-A-2)  
 5) MPU 4単位(必修2単位、選択必修2単位)※条件により6単位  
 マレーシア高等教育省が定める必修科目。  
 マレーシア人学生、外国人学生の別により対象科目が異なる。  
 【共通対象科目】  
 ・Philosophy and Current Issues(2単位)  
 【マレーシア人学生対象科目】  
 ・Appreciation of Ethics and Civilisations(2単位)  
 ・National Language A(2単位)※  
 ※中等教育修了時に受験する学力認定試験SPMIにおいて、Bahasa Malayu(マレー語)に合格していない場合は履修が必要  
 【外国人学生対象科目】  
 ・Malay Language Communication II(2単位)

2. 専門基礎科目 34単位(必修)

3. 専門科目 71単位(うちProblem Based Learning 45単位)(必修)

卒業要件: 126単位  
 (マレーシア人学生で、MPUのNational Language Aを履修する必要がある場合は128単位)

(履修科目の登録上限)  
 履修科目の登録の上限を45単位とし、所定の単位を優れた成績をもって修得した場合は、55単位まで登録を認める。

(卒業要件)

1. 基礎科目 21単位  
 1) 総合科目 3単位(必修)  
 2) 情報 4単位(必修)  
 3) 体育 2単位(必修)  
 4) 外国語 8単位(必修4単位、選択必修4単位)  
 研究日本語基礎I-A及びII-Aについては、プレシメントテストにより、履修するレベル別クラスを決定する。(I-A-1/II-A-1又はI-A-2/II-A-2)  
 5) MPU 4単位(必修2単位、選択必修2単位)※条件により6単位  
 マレーシア高等教育省が定める必修科目。  
 マレーシア人学生、外国人学生の別により対象科目が異なる。  
 【共通対象科目】  
 ・Philosophy and Current Issues(2単位)  
 【マレーシア人学生対象科目】  
 ・Appreciation of Ethics and Civilisations(2単位)  
 ・National Language A(2単位)※  
 ※中等教育修了時に受験する学力認定試験SPMIにおいて、Bahasa Malayu(マレー語)に合格していない場合は履修が必要  
 【外国人学生対象科目】  
 ・Malay Language Communication II(2単位)

2. 専門基礎科目 34単位(必修)

3. 専門科目 71単位(うちProblem Based Learning 45単位)(必修)

卒業要件: 126単位  
 (マレーシア人学生で、MPUのNational Language Aを履修する必要がある場合は128単位)

(履修科目の登録上限)  
 履修科目の登録の上限を45単位とし、所定の単位を優れた成績をもって修得した場合は、55単位まで登録を認める。

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					その他 の 手 数 等		
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 員	助 手			
基礎科目	共通科目	総合科目	ファーストイヤーセミナー	1前	1			8	4		2		
		学問への誘い	1前	1			8	4		2			
		社会と職業	1後	1			2						
		小計(3科目)	-	3	0	0	8	4	0	2	0	0	
	体育	基礎体育	1通	1			1			1			
		応用体育	2通	1			1				2		
		小計(2科目)	-	2	0	0	1	0	0	1	0	2	
	外国語	研究日本語基礎I-A-1	1前		2			1				1	
		研究日本語基礎I-A-2	1前		2			1				1	
		研究日本語基礎I-B	1前		2			1				1	
		研究日本語基礎II-A-1	1後		2			1				1	
		研究日本語基礎II-A-2	1後		2			1				1	
		研究日本語基礎II-B	1後		2			1				1	
		小計(6科目)	-	4	8	0	0	1	0	0	0	3	
情報	情報リテラシー(講義)	1前	1			2	2						
	情報リテラシー(演習)	1前	1			2	2						
	データサイエンス	1後	2			2	2						
	小計(3科目)	-	4	0	0	2	2	0	0	0	0		
関連科目	MPU	Philosophy and Current Issues	2・3・4前	2								2	
		Appreciation of Ethics and Civilisations	2・3・4後	2								2	
		Malay Language Communication II	2・3・4前	2								2	
		National Language A	2・3・4後	2								2	
		小計(4科目)	-	2	6	0	0	0	0	0	0	2	
	基礎科目小計(18科目)	-	15	14	0	8	4	0	2	0	5		
専門基礎科目	統計学基礎	実践統計	1前	3			2	2					
		日本語と学問I	2前	3			2	1				2	
		日本語と学問II	2後	3			1					2	
		自然科学基礎I	2前	4			5	2				3	
		自然科学基礎II	2後	4			5	2				4	
		人文社会科学基礎I	2前	4			1	1		1		1	
		人文社会科学基礎II	2後	4			1	1		1		3	
		データサイエンスのための線形代数	3前	2			2	2					
		データサイエンスのための解析学	3前	2			2	2					
		データサイエンスのためのシステム理論	3後	2			2	2					
			専門基礎科目小計(11科目)	-	34	0	0	7	4	0	2	0	14
	専門科目	日本文化と社会の理解I	2前	2			1			2			
		日本文化と社会の理解II	2後	2			1	1					
		日本文化コミュニケーションI	3前	3			1			1			
日本文化コミュニケーションII		3後	3				2						
自然科学通論I		3前	4			5	2				6		
自然科学通論II		3後	4			5	2				2		
人文社会科学通論I		3前	4			1	1		1				
人文社会科学通論II		3後	4			1	1		1		3		
	小計(8科目)	-	26	0	0	8	4	0	2	0	8		
Problem Based Learning	時事課題論考演習I	1前	5			8	4		2				
	時事課題論考演習II	1後	6			8	4		2				
	時事課題解析演習I	2前	6			6	4		2		1		
	時事課題解析演習II	2後	6			6	3		2		2		
	時事課題解決法提案演習I	3前	6			8	4		2				
	時事課題解決法提案演習II	3後	6			8	4		2				
	卒業研究	4通	10			8	4		2				
	小計(7科目)	-	45	0	0	8	4	0	2	0	3		
	専門科目小計(15科目)	-	71	0	0	8	4	0	2	0	9		
	合計(44科目)	-	120	14	0	8	4	0	2	0	19		

卒業要件及び履修方法

〔卒業要件〕	
1. 基礎科目	21単位
1) 総合科目	3単位(必修)
2) 情報	4単位(必修)
3) 体育	2単位(必修)
4) 外国語	8単位(必修4単位、選択必修4単位)
研究日本語基礎-I及びII-AIについては、プレシメントテストにより、履修するレベル別クラスを決定する。(I-A-1/II-A-1又はI-A-2/II-A-2)	
5) MPU	4単位(必修2単位、選択必修2単位)※条件により6単位
マレーシア高等教育省が定める必修科目： マレーシア人学生・外国人学生の別により対象科目が異なる。 〔共通対象科目〕 ・Philosophy and Current Issues(2単位) 〔マレーシア人学生対象科目〕 ・Appreciation of Ethics and Civilisations(2単位) ・National Language A(2単位)※ ※中等教育修了時に受験する学力認定試験SPMIにおいて、 Bahasa Malayu(マレー語)に合格していない場合は履修が必要 〔外国人学生対象科目〕 ・Malay Language Communication II(2単位)	
2. 専門基礎科目	34単位(必修)
3. 専門科目	71単位(うちProblem Based Learning 45単位)(必修)
卒業要件：126単位 (マレーシア人学生で、MPUのNational Language Aを履修する必要がある場合は128単位)	
〔履修科目の登録上限〕 履修科目の登録の上限を45単位とし、所定の単位を優れた成績をもって修得した場合は、55単位まで登録を認める。	

〔注〕・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。  
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、**「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。**その上で、各年度については、**「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字**としてください。  
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「※」、「**臨地実務実習**」による授業科目には「**臨**」、「**連携実務演習**」による授業科目には「**連**」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。  
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。  
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。  
(例：記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

・担当教員退職に伴い、「兼任・兼任教員」の配置を「人文社会科学基礎1」において「2」から「1」に変更、「自然科学通論1」において「7」から「6」に変更、「時事課題解析演習11」において「3」から「2」に変更。科目開講時までに「兼任教員」を補充予定。  
・認可時の専門科目の兼任・兼任教員数の合計に2カ所誤りがあった。以下の修正と上記の変更点を踏まえて、令和6年度の合計を正しい数に修正した。  
【認可時】専門科目「小計（8科目）」の兼任・兼任の合計数を「10」としていたが、正しくは「9」であった。  
専門科目「計（15科目）」の兼任・兼任の合計数を「4」としていたが、正しくは「10」であった。

【令和7年度】

・専任教員（※AC教員審査時は改正前大学設置基準）1名の昇任（准教授→教授）に伴い、「基幹教員等の配置」において該当する各科目の教授および准教授の数を変更。  
・総合科目：「ファーストイヤーセミナー」「学問への誘い」において教授「8」准教授「4」からそれぞれ「9」「3」に変更  
・情報：「情報リテラシー（講義）」「情報リテラシー（演習）」「データサイエンス」において教授「2」准教授「2」からそれぞれ「3」「1」に変更  
・専門基礎科目：「統計学基礎」「実践統計」「データサイエンスのための線形代数」「データサイエンスのための解析学」「データサイエンスのためのシステム理論」において教授「2」准教授「2」からそれぞれ「3」「1」に変更；「自然科学基礎1」「自然科学基礎11」において教授「5」准教授「2」からそれぞれ「6」「1」に変更  
・専門科目：「自然科学通論1」「自然科学通論11」において教授「5」准教授「2」からそれぞれ「6」「1」に変更；「時事課題論考演習1」「時事課題論考演習11」「時事課題解決法提案演習1」「時事課題解決法提案演習11」「卒業研究」において教授「8」准教授「4」からそれぞれ「9」「3」に変更；「時事課題解析演習1」において教授「6」准教授「4」からそれぞれ「7」「3」に変更；「時事課題解析演習11」において教授「6」准教授「3」からそれぞれ「7」「2」に変更  
・担当教員退職に伴い、「基幹教員以外の配置」において該当する各科目の配置数を変更。「人文社会科学基礎11」「人文社会科学通論11」において「3」から「2」、「自然科学通論1」において「6」から「5」、「時事課題解析演習11」において「2」から「1」。科目開講時までに担当補充予定。  
・「研究日本語基礎1-B」および「研究日本語基礎11-B」は非常勤講師を配置せず、専任（基幹）教員1名で対応。「基幹教員の配置」をそれぞれ「1」から「0」に変更。

- (注) 2. (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。  
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
  - ・不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
  - ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
37 科目	7 科目	0 科目	44 科目	37 科目 [ - ]	7 科目 [ - ]	0 科目 [ - ]	44 科目 [ - ]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{44} = \boxed{0}\%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 ※マラヤ大学からの借用による、同大学との共用分を含む。 <借用面積> ・専用0㎡、共用29,282㎡ 筑波大学の既存建物の面積修正による(7)			
	校舎敷地	1,718,141㎡ 1,712,241㎡	22,615㎡	0㎡	1,740,756㎡ 1,734,856㎡				
	その他	798,039㎡	6,667㎡	0㎡	804,706㎡				
	合 計	2,516,180㎡ 2,510,280㎡	29,282㎡	0㎡	2,545,462㎡ 2,539,562㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 ※マラヤ大学からの借用による専用分、同大学との共用分を含む。 <借用面積> ・専用4,990㎡、共用865㎡ 筑波大学の既存建物の面積修正による(6) 筑波大学の既存建物の面積修正及び建物の取り壊し等による(7)			
		484,410㎡ 484,461㎡ 481,559㎡	865㎡	0㎡	485,275㎡ 485,326㎡ 482,424㎡				
		-(484,410㎡) -(484,461㎡) (481,559㎡)	(865㎡)	(0㎡)	-(485,275㎡) -(485,326㎡) (482,424㎡)				
(3) 教室・教員研究室		教 室	24 室	教員研究室	19 室				
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点		
	学際サイエンス・デザイン専門学群	600,993 [600,582] <del>(600,993 [600,582])</del> (614,443 [612,556])	- (42,162 [42,159])	6,923 [6,908] (6,923 [6,908])	66,980 [66,980] 66,980 [66,980]	27 (0)	0 (0)		
	計	600,993 [600,582] <del>(600,993 [600,582])</del> (614,443 [612,556])	- (42,162 [42,159])	6,923 [6,908] (6,923 [6,908])	66,980 [66,980] 66,980 [66,980]	27 (0)	0 (0)		
(5) スポーツ施設等		スポーツ施設 584㎡	講堂 0㎡	厚生補導施設 597㎡			マラヤ大学からの借用。講堂については必要に応じ同大学から借用する。		
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。  
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
  - ・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	筑波大学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
人文・文化学群	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
人文学類	4	240	0	960	-	1.06	1.01	-	平成19	-	
比較文化学類	4	120	0	480	学士(人文学)	1.06	1.01	-	平成19	茨城県つくば市天王台1-1-1	
日本語・日本文化学類	4	80	0	320	学士(比較文化)	1.09	1.05	-	平成19	同上	
社会・国際学群	4	40	0	160	学士(文学)(日本語教育)	1.00	0.96	-	平成19	同上	
社会学類	4	160	3年次10	660	-	1.10	1.03	-	平成19	-	
国際総合学類	4	80	0	320	学士(社会学)(法学)(政治学)(経済学)(国際社会学)	1.07	1.01	-	平成19	茨城県つくば市天王台1-1-1	
人間学群	4	80	0	320	学士(国際関係学)(国際関係学)(国際社会学)	1.13	1.06	-	平成19	同上	
教育学類	4	120	0	480	-	1.09	1.06	-	平成19	-	
心理学類	4	35	0	140	学士(教育学)	1.06	1.02	-	平成19	茨城県つくば市天王台1-1-1	
障害科学類	4	50	0	200	学士(心理学)	1.11	1.07	-	平成19	同上	
生命環境学群	4	35	0	140	学士(障害科学)(特別支援教育学)(社会福祉学)	1.10	1.07	-	平成19	同上	
生物学類	4	250	3年次10	1,020	-	1.05	1.02	-	平成19	-	
生物資源学類	4	80	0	320	学士(理学)	1.03	1.00	-	平成19	茨城県つくば市天王台1-1-1	
地球学類	4	120	10	500	学士(生物資源学)(農学)	1.05	1.02	-	平成19	同上	
理工学群	4	50	0	200	学士(理学)	1.09	1.06	-	平成19	同上	
数学類	4	528	3年次15	2,142	-	1.07	1.02	-	平成19	-	
物理学類	4	40	0	160	学士(理学)	1.03	1.00	-	平成19	茨城県つくば市天王台1-1-1	
化学類	4	60	0	240	学士(理学)	1.14	1.07	-	平成19	同上	
応用理工学類	4	50	0	200	学士(理学)	1.04	1.01	-	平成19	同上	
工学システム学類	4	120	10	500	学士(工学)	1.06	1.02	-	平成19	同上	
社会工学類	4	138	5	562	学士(工学)	1.08	1.00	令和7	平成19	同上	令和7年度入学定員変更(130→143)
社会工学類	4	120	0	480	学士(社会工学)	1.05	1.02	-	平成19	同上	
情報学群	4	240	3年次38	1,036	-	1.13	1.05	-	平成19	-	
情報科学類	4	86	14	372	学士(情報科学)(情報工学)	1.12	1.05	令和7	平成19	茨城県つくば市天王台1-1-1	令和7年度入学定員変更(90→100)
情報メディア創成学類	4	54	14	244	学士(情報メディア科学)	1.12	1.04	令和7	平成19	茨城県つくば市春日1-2	令和7年度入学定員変更(60→68)
知識情報・図書館学類	4	100	10	420	学士(図書館情報学)	1.15	1.05	-	平成19	同上	
医学群(修業年限6年)	6	134	2年次5	829	-	0.99	-	令和7	平成19	-	

医学類	6	134	5	829	学士 (医学)	0.99	-	令和7	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和7年度入学生定員変更(98→134)
医学群(修業年限4年)	4	107	3年次 13	454	-	1.06	1.01	-	平成19	-	
看護学類	4	70	10	300	学士 (看護学) (ヘルスケア)	1.05	1.00	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
医療科学類	4	37	3	154	学士 (医療科学) (国際医療科 学)	1.07	1.03	-	平成19	同上	
体育専門学群	4	240	0	960	学士 (体育学)	1.08	1.05	-	昭和49	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
芸術専門学群	4	100	0	400	学士 (芸術学)	1.13	1.07	-	昭和50	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
学際サイエンス・デ ザイン専門学群	4	40	0	160	学士 (学術)	-	-	-	令和6	Wisma R&D, Universiti Malaya, Jalan Pantai Baharu, 59990 Kuala Lumpur, Malaysia	令和6年9月設置
大学全体	4	2,025	3年次 86	8,272	-	-	-	-	-	-	
	6	134	2年次 5	829	-	-	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定してください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学生定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定してください。
  - ・学部の学科等、「入学生定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
  - ※「入学生定員を定めている組織」には、課程認定等によりコース・専攻に入学生定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学生定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
  - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

## 5 教育研究実施組織の状況

<学際サイエンス・デザイン専門学群>

(1) -① 担当教員表

掲載省略

(1) -② 担当教員表に関する変更内容

掲載省略

(2) 基幹教員数等

(注) 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)」の設置の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づき「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教育研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
14	7	11
名	名	名

(注) 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。  
 ・高等専門学校の場合、うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画(改正前大学設置基準等)							現在(報告時)の状況						
教授	准教授	講師	助教	計(A)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(B'))	助手(B')
8	4	0	2	14	-	0	9	3	0	2	14	14	0
(9)	(3)	(0)	(2)	(14)	(-)	(0)							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計(C)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(C'))	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(D'))	助手(D')
9	3	0	2	14	14	0	9	3	0	2	14	14	0
[1]	[△ 1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[△ 1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基一」及び「基専」の計)」として記入してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。  
 また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))」欄には「-」を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△ 1)  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】  

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】  

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{14}{-} = \boxed{-} \%$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
							該当なし			
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
							該当なし			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{14} = 0\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

(注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

- ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
						該当なし			
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」              |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」          |

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
<p>認可時</p> <p>(令和5年)</p>	<p>教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。</p>	<p>令和6年9月開設の開設に向け、5月1日現在、設置計画に基づき学生募集を実施中。(6)</p> <p>アドミッションポリシーに則り、地球規模課題、およびそれに関連したデータに基づくテーマを選定し、討論、プレゼンテーション、質疑応答から構成される、グループ面接を中心とした選抜を実施、令和6年9月に13名の第一期生を受け入れた。3時間以上の時間をかけ、志願者とほぼ同数の教員が、評価基準表(ルーブリック)に基づき、志願者の討論、プレゼンテーション、質疑応答に係る能力を丁寧に評価することについて、既存の入学選抜では評価し得ない能力を審査し得る点に、極めて高い効果を感じた。しかしながら、マレーシア側での設置手続が当初の想定よりも遅れたことにより、令和6年9月入学者の学生募集開始時期に大きな影響を及ぼしたことから、入学定員40名を充足することができなかった。この結果を踏まえ、令和7年9月入学者の募集活動を令和6年9月より本格的に実施している。募集要項を9月に公表後、各地の教育フェア、中等学校訪問、オンラインセミナーやオープンキャンパスの実施等、学生確保に向けた各種活動を延べ32件実施してきた。令和7年5月1日現在、令和7年9月入学を対象とした学生募集を実施中。(7)</p>	<p>学生募集の結果を踏まえ、翌年9月の入学者選抜に向けた実施方法のレビューを実施する。(6)</p> <p>令和7年9月入学の学生確保に向けた各種活動を継続するほか、これまでの活動の方向性を検証し、令和8年9月入学の学生確保に向けた各種活動に反映させるため、令和7年12月末までにステークホルダー調査を実施する予定。その結果により、学生確保に向けた各種取組を強化する。(7)</p>
<p>認可時</p> <p>(令和5年)</p>	<p>「審査意見への対応を記載した書類(6月)」審査意見1の対応において、ディプロマ・ポリシーの「2. 自然科学、人文社会科学を理解し活用できる能力が身につけている」について、本学で修得させる自然科学及び人文社会科学の範囲を示すために「地球規模課題解決の観点から、」を追記すると説明されている。しかしながら、「地球規模課題」の内容は多様と考えられるため、本学が考える「地球規模課題」を具体的に示すことなどにより、学生や社会等が適切に理解できるように周知すること。その際、ディプロマ・ポリシーの「3. 環境学を理解し地球規模課題解決のために活用できる能力が身につけている」にも「地球規模課題」とあることから、両者に差異がある場合には誤解が生じることのないよう留意すること。</p>	<p>入学希望者等が「地球規模課題」について適切に理解できるよう、令和6年9月開設に向けた広報活動に際し、具体的な事例を示しながら説明を実施している。(6)(7)</p>	<p>令和6年9月の開設後においても、外部への広報活動だけでなく、入学者オリエンテーションや関連授業科目においても、具体的な事例や身近な事例を挙げながら、学生や社会等が「地球規模課題」について適切に理解できるよう配慮する。(6)(7)</p>

認可時  (令和5年)	二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。	【意見伺い】遵守事項	学生が校地を移動して受講する科目の前後には他の科目を配置しない等の配慮した時間割としている。(6)  ・学生が校地を移動して受講する科目の前後には他の科目を配置しない等の配慮した時間割として対応している結果、支障がないことを確認した。(履行済) ・施設を共用するマラヤ大学の課外活動参加をサポートしているほか、本学群の学生企画として、マラヤ大学の運動場でSports Daysポーツデイを実施する等、学生の課外活動参加を促している。(7)	履行中	令和6年9月から始まる学年において当該科目を実施したのち、翌年に向けたレビューを実施する。(6)  マラヤ大学とも連携して引き続き課外活動参加を促進するほか、本学筑波キャンパスの学生団体、学生部とも連携し、より多彩な課外活動への参加に向けた方策を検討する。(7)
認可時  (令和5年)	専任教員資格審査の結果により、「不可」や「保留」、「適切な職位・区分であれば可」となった授業科目については、確実に教員を充足させること。	【意見伺い】遵守事項	不可となった教員を含む「時事課題解析演習Ⅰ」「時事課題解析演習Ⅱ」は共同方式であることから、同内容に關する複数名の専任教員により、当該科目を実施することとした。(6)(7)	履行済	
設置計画履行状況調査結果 (令和6年度)	該当なし				

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)(7)」と記載してください。

**【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <学際サイエンス・デザイン専門学群>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

- ・全学FDの推進や部局FDを支援するため、教学マネジメント室に教育力向上部門を設置するとともに「筑波大学ファカルティ・ディベロップメント活動に関する要項」を制定し、全学的なFD活動を推進している。【別紙1, 別紙2】
- ・学際サイエンス・デザイン専門学群教育会議のもとにFD・SD委員会を設置、担当教員を配置している。【別紙3】

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・全学FDについては、教学マネジメント室運営会議を月1回開催し、全学FDの企画及び運営を行っている。
- ・学際サイエンス・デザイン専門学群教育会議を毎月1回開催し、部局FD・SDの企画及び運営を行っている。具体的な企画・運営は、FD・SD担当教員が担っている。

###### c 委員会の審議事項等

- ・教学マネジメント室教育力向上部門：全学FDの企画・実施、及び部局FDの支援に関することを業務としている。
- ・学際サイエンス・デザイン専門学群教育会議：教育課程の編成、入学者選抜の実施等について審議するほか、FD・SDの企画・実施、学生リクルーティング活動等を行っている。

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

- ・教学マネジメント室教育力向上部門：全学FD研修会の企画・実施
- ・学際サイエンス・デザイン専門学群教育会議：
  - ・カリキュラム懇談会
  - ・教員相互の授業見学
  - ・筑波大学マレーシア校の概要説明
  - ・Problem Based Learningに関する学修
  - ・Universiti Teknologi MARA (UiTM) 訪問 (2回)
  - ・Sekolah Menengah Sains Selangor (SMSS) 訪問
  - ・マレー語講座

###### b 実施方法

- ・対面：授業見学、UiTM/SMSS訪問
- ・ハイブリッド：その他すべて

###### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・カリキュラム懇談会：毎週金曜午後1時～2時に開催、基幹教員は原則全員、職員は常時1～2名参加
- ・教員相互の授業見学：適宜実施
- ・R6. 12. 19 筑波大学マレーシア校の概要説明：基幹教員14名全員参加
- ・R7. 01. 16 Problem Based Learningに関する学修：基幹教員14名全員参加

- ・R7.01.22, 23 Universiti Teknologi MARA (UiTM) 訪問 (2回) : 基幹教員延べ7名参加
- ・R7.02.19 Sekolah Menengah Sains Selangor (SMSS) 訪問 : 基幹教員3名、職員1名参加
- ・R7.02.26 マレー語講座 : 基幹教員10名参加 ※学生・職員も参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・FDプログラム後にアンケートを実施し、その結果をもとに次回以降のFD研修会のテーマを検討している。【別紙4】
- ・毎週金曜のカリキュラム懇談会において、各授業の実施状況、課題、学生の様子等を全体で共有することで、改善・解決すべき点に対し、早期に対処している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・各授業科目終了後に授業評価アンケートを実施しているほか、学期毎に実施する学生との懇談会等の機会を活用して学生の意見を収集し、授業改善に役立てている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・担当教員間で集計結果を共有するほか、大学ホームページにおいて全学的な集計結果の概要を公表している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・設置の趣旨・目的に従い、令和6年9月に学際サイエンス・デザイン専門学群を開設した。必要な教員配置及び授業科目を開設し、設置計画に沿って教育課程を実施している。
- ・令和6年9月入学者の学生確保においては、マレーシア側での手続が当初の想定よりも遅れたことにより、令和6年9月入学者の学生募集開始時期に大きな影響を及ぼしたことから、入学定員40名を充足することができなかった。この結果を踏まえ、学生確保に向けては募集活動を早期に開始し、本学群を周知する必要があることから、令和6年9月の第一期入学直後の令和6年9月より、令和7年9月入学者の募集活動を本格的に開始した。募集要項を9月に公表後、令和6年3月までの間に、中東での教育フェアを含む、計15回の教育フェアに参加したほか、学校訪問(9件)、オンラインセミナー(8回)、対面でのオープンキャンパス(2回)等、オンライン、オフラインでの活動を積極的に実施してきた。令和7年5月現在、令和7年9月入学者の募集活動を継続している。
- ・本学は令和6年度に機関別認証評価を受審したが、本学群は令和6年9月開設のため、評価の対象とされなかった。
- ・また本学は学位プログラムごとに入から出口にわたる教育の実施状況と改善の取組に関する点検・評価を行うモニタリング及びプログラムレビューのシステムが確立されている。この教学マネジメント体制のもと、令和7年度以降に実施予定の全学的なモニタリング及びプログラムレビューの第2サイクルにおいて、本学群も他の学位プログラム等と同様に実施対象となる。令和7年5月1日現在、第2サイクルの詳細なスケジュールを教学マネジメント室にて検討中。
- ・日本の学位を海外で授与する初めての学部相当の組織として、設置の趣旨に違わぬ効果をあげるため、より一層の努力をしていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和7年度中 筑波大学年次報告書の公表

b 公表方法

- ・筑波大学年次報告書は、大学ウェブサイトにおいて毎年公表している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・日本：令和13年度に大学機関別認証評価を受審予定。
- ・マレーシア：第一期生が最終学年に進級する年にマレーシア資格機構（Malaysian Qualification Agency：MQA）の「Full Accreditation」を受審予定。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [ 有 ]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。